

主な訪問内容（1月5日時点）

2月9日（木）

① 三井アウトレット社（台湾）訪問

平成30年開業予定の三井台中アウトレットパーク（台中市）を運営する同社の総経理を訪問し、「三重県フェア」開催の協力を依頼します。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

② 総統府訪問

地方レベルでの民間交流、大学間交流を台湾全土で展開してきたことから、これまでに構築した台湾と三重県の連携関係を発展させるため、今後の更なる関係強化について意見交換を行います。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

③ 現地企業（台湾商会聯合總會参加企業等）との交流・意見交換会

台湾現地の企業経営者を中心に構成されている台湾商会聯合總會等と三重県台湾経済交流ミッション団のビジネス交流・意見交換会を開催します。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）、三重県台湾経済交流ミッション団ほか》

※台湾商会聯合總會

世界70ヶ国に183支部を擁する世界最大規模の台湾商工協会組織で、世界における台湾企業の連携推進、相互発展、地位向上などを目的に設立されました。

日本国内では東京、千葉、横浜、関西、九州、沖縄の6つの地域で組織されており、連携、協力、情報交換など台湾と日本の相互発展に向けた活動をしています。

④ 台湾三重県人会との夕食交流会

平成23年から定期的に交流されている台湾三重県人会が結成5年を迎え、三重県ゆかりの方々台湾の地で三重県を盛り上げていただいていることに対し、知事から感謝状を贈呈します。また、夕食交流会を通じ、現状の台湾経済等に係る情報収集を行うとともに、今後の三重県と台湾との継続的な関係発展に向けた意見交換を行います。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）、三重県台湾経済交流ミッション団ほか》

※台湾三重県人会は、三重県にゆかりのある台湾在住者等（企業関係者、県内出身者、在学経験者等）で構成されています。

2月10日（金）

⑤ 台中市長訪問

平成28年3月に面談した際に、熱心な連携提案を受けている台中市長を訪問します。「生活首都」を掲げる台湾中部最大都市（人口約275万人）である台中市には企業も多く集積しており、三重県への産業ツーリズム誘致、企業の取引拡大・県内投資促進、食の販路拡大等に期待できることから、今後の連携に向けた意見交換を行います。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

⑥ 教育旅行トップセールス【調整中】

平成28年10月に高雄市教育局による視察団が来県したことを受け、今後の教育旅行受入に向けたトップセールスを行います。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

⑦ 鈴鹿サーキットパーク利用促進イベント

(株)モビリティランド、タロコエンターテイメント社等と連携し、鈴鹿、三重への誘客につなげるため、高雄に開業した鈴鹿サーキットパークの利用促進イベントを開催します。（三重県出身のレーシングドライバー松田次生選手とともに、カート乗車やメディア取材などのプロモーションを実施します。）

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

⑧ 三重ナイト開催（セミナー、立食レセプション等）

高雄市と三重県の連携関係を基に交流人口の更なる増加につなげるため、県内市町とともに「三重ナイト」を開催します。三重ナイトでは、台湾で社会的影響力や情報発信力のある方や現地企業や高雄市政府関係者などを幅広く招聘し、県内市町長等によるプレゼンテーションや教育旅行の推進合意、三重県食材や日本酒等をふるまう立食レセプションなどを実施します。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）、三重県台湾経済交流ミッション団ほか》

2月11日（土）

⑨ 高雄市長訪問

平成28年1月に締結した「高雄市と三重県の国際交流促進覚書」に沿って来年度から実施予定の教育旅行の受入れを表明している県内市町長とともに高雄市長を訪問します。また、教育旅行に加え、産業ツーリズム誘致、企業の取引拡大・県内投資促進、食の販路拡大、タロコ・鈴鹿サーキットパークでの継続的な三重県フェア開催等について意見交換を行います。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

⑩ 高雄市ランタンフェスティバル歓迎レセプション出席

平成 29 年 2 月 11 日(土)に開催される高雄市ランタンフェスティバルの歓迎レセプションに出席し、高雄市関係者と懇談します。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

⑪ 雲林ランタンフェスティバルへの三重県ランタン出展及び開幕式、点燈式等出席

平成 29 年 2 月 11 日(土)から 19 日(日)まで雲林県で開催される台湾ランタンフェスティバルに、三重県ランタンを出展します。三重県ランタンの出展は 5 回目となり、今年度はお伊勢さん菓子博 2017 をテーマとして、誘客 PR を行います。

また、2 月 11 日に開催される開幕式、点燈式に出席します。

《訪問者：知事、県内市町長（調整中）ほか》

参考 1)

(1) 高雄市ランタンフェスティバルについて

- ・ 高雄市主催、平成 29 年 1 月 30 日(月)から 2 月 12 日(日)の 14 日間、高雄市内で開催
- ・ 来場者：約 60 万人
- ・ 2 月 11 日に歓迎レセプション、市内パレード、花火などのイベントが行われます。
- ・ 三重県の参加は平成 27 年から連続、3 回目となります。

(平成 27 年及び 28 年は石垣副知事が出席)

(2) 雲林ランタンフェスティバルについて

- ・ 台湾観光局主催（第 28 回）、平成 29 年 2 月 11 日(土)から 19 日(日)の 9 日間、雲林県で開催（会場は毎年台湾各地で持ち回り）
- ・ 来場者：1,000 万人以上
- ・ 安濃津よさこいが 10 年以上に渡り交流し、開幕式典やパレードで演舞を行います。
- ・ 三重県としてのランタン出展は平成 25 年から連続、5 回目となります。

(平成 25 年：鈴木知事、平成 26 年、27 年及び 28 年：石垣副知事が出席)

(3) 新北市平溪国際天燈祭りについて

- ・ 新北市主催、平成 29 年 2 月 11 日(土)に新北市平溪区で開催
- ・ 来場者：10 万人以上
- ・ 願い事を書いたランタンを夜空に飛ばします。(200 個×8 回程度)
- ・ 三重県の参加は平成 26 年から連続、4 回目となります。(毎年観光局長が出席)

参考2) 台湾の行政区画



(台北市)

面積：272 km²

人口：2,704,974 人 (2016 年)

台北市は、261 万人以上が居住しており、市域の人口では衛星都市の新北市に抜かれたものの、台湾の中心都市である。台湾最大の都市圏である台北都市圏の中核都市であり、アジア屈指の世界都市でもある。

(台中市)

面積：2,215 km²

人口：2,752,413 人 (2016 年)

台中市は 2010 年 12 月 25 日台中県と台中市を合併して、新たに直轄市となった。人口はおよそ 271 万人、台湾第三の都市で、台湾中部に位置している。

(高雄市)

面積：2,952 km²

人口：2,778,918 人 (2016 年)

高雄市は、台湾南部に位置する台湾第二の都市。西は台湾海峡、南は巴士海峡に面し、世界第三の港を擁する。インド洋と東北アジアを結ぶ重要な中継地である。

(雲林県)

面積：1,291 km²

人口：705,356 人 (2014 年)

雲林県は台湾の中部に位置する県。県政府所在地は斗六市。県の主産業は農業である。

参考3) これまでの知事の台湾訪問

三重県知事就任後、6回目の台湾訪問となります。

(1) 平成24年7月4日～6日

台湾政府経済部、亜東関係協会、台日産業連携推進オフィス (TJPO)、台北市日本工商会及び台湾日本人会、工業技術研究院 (ITRI)、花蓮県 (日台観光サミット)、太平洋 SOGO 百貨店、中華民国三三会、五福旅行社

この他、台湾政府関係者や台湾企業及び台湾旅行会社等 (台湾側計約 120 名)

(2) 平成25年2月23日～25日

新竹県 (ランタンフェスティバル)、台湾観光局、大榮旅行社、微風廣場

(3) 平成25年10月21日～10月22日

台北国際旅行博 (ITF)、新北市、亜東関係協会、台湾観光局、台湾観光協会、チャイナエアライン

(4) 平成26年11月6日～9日

台北国際旅行博 (ITF)、チャイナエアライン、新北市、經濟部工業局・台日産業連携推進オフィス (TJPO)、台湾観光局長、三井林口アウトレットパーク建設地、五福旅行社、鈴鹿サーキットパーク建設地、高雄市、台中市旅行商業組合

(5) 平成28年1月21日～23日

チャイナエアライン、現地高級スーパー (Wellcome JASONS)、亜東関係協会、台東県、交流協会高雄事務所、高雄市、高雄港、鈴鹿サーキットパーク建設地、台湾旅行会社、台湾観光局・台湾観光協会

※台日産業連携推進オフィス (TJPO)

台湾経済部 (経済産業省に相当) は日台産業連携を推進するため、2011年12月16日行政院 (内閣に相当) が認可した「台日産業連携架け橋プロジェクト」により、完備した推進体制と単一サービスの窓口である「台日産業連携推進オフィス」(Taiwan Japan Industrial Collaboration Promotion Office) を開設した。これを機に日台の重点産業の連携協力を加速させ、連携分野の拡大、日台企業間の連携形態の強化、産業推進モデルの革新、日台産業の相互補完の優位性の活用等に尽力し、共同でグローバル市場の開拓に努めている。